

## 山陽小野田市林業振興研究会が、山陽小野田市立埴生小学校で森林体験学習を実施しました！

令和4年12月15日（木曜日）、山陽小野田市立埴生小学校（校長：東原秀一）の4年生24名を対象に森林体験学習が実施されました。

この活動は、山陽小野田市林業振興研究会（会長：池田忠妃己）が森林の役割や林業の重要性について、地元の小学生の理解と関心を深めるために毎年行っているものです。

児童たちは、教室で森林の役割や林業の重要性について説明を受けた後、シイタケ栽培に使われる原木や生活史について学びました。

その後、体育館に移動し、会員の指導の下、電気ドリルで穿孔し、その穴に木槌で種駒を打ち込むシイタケの駒打ち体験をしました。

最初は、電気ドリルの錐の回転の速さに驚いていましたが、次第に慣れ上手に使いこなしていました。

さらに、今年から鋸の使い方体験を追加し、鋸による丸太切りをしました。

児童にとって初体験で、会員の支援と応援を得て、悪戦苦闘しながら取り組み、丸太が切れると思わず声を上げる児童もいました。

また、今回は埴生小学校地域ボランティアの協力を得て実施されました。

寒い中での森林体験学習ではありましたが、児童は、森林・林業を学ぶ貴重な体験となったようでした。



電動ドリルでの穿孔



鋸による丸太切り